

日朝友好とマスメディアの朝鮮報道

日時 2013年5月19日(日) 13:30~16:30

場所 京都市北文化会館第4会議室 地下鉄烏丸線 北大路駅下車

京都市北区小山北上総町49番地の2 (キタオオジタウン内)

TEL (075) 493-0567

○参加費(資料代) 500円

1. ビデオによる訪朝報告

報告者 竹本 昇 (ハンクネット世話人)

昨年11月の朝鮮民主主義人民共和国(朝鮮)の平壤市と元山市の育児院を訪れ、母親が病気に罹ったり死亡したりして、母乳が与えられない乳児には、粉ミルクが必要である現状をみてきました。その現状をビデオで報告します。



江原道育児院(元山市)の幼児たち



北朝鮮 核実験
東海地方では

朝鮮人道支援ネットワーク世話人
竹本 昇

NHKニュース 津放送局
2013年2月12日 18時12分
「日本政府の制裁措置で困っている」という言葉を、「核実験をしたから困っている」というコメントに編集して放映

ところで、朝鮮が核実験を実施した2013年2月12日、ハンクネットは、NHKの取材を受けました。そのとき、「粉ミルクの輸送費が嵩むので困っている」と答えたところ、NHKは、「困っている」という言葉だけを切り取り、別のシーンに貼り付けて、「人道支援団体が、核実験をしたから困っている」という内容に変えて放映しました。この度のNHKにみられるようなペテンともいえるべき報道に対して、私たちが見てきた朝鮮の姿を報告して、日本の排外主義を糾し、朝鮮と日本との間に平和で友好的な関係を築いていきたいと思えます。

2. 「朝鮮を危険視する日本のマスメディア報道について」 学習会

—「北朝鮮」報道と情報リテラシー—

講師 森 類臣さん(立命館大学 コリア研究センター)

日本のマスメディアは、朝鮮に対する植民地支配の事実とその責任については、一切、報道しません。その一方で、視聴者をして、朝鮮に対する敵意と排外主義を助長させる報道は、時が経つほどに激しさを増しています。

最近においては、あたかも朝鮮が日本に向かって先制攻撃でミサイルを発射してくるかのような報道がなされ、少なからずの視聴者は、朝鮮を「怖い国」と意識付けられています。

しかし、はたして、日本のマスメディアの「朝鮮報道」は、客観的で公平な報道なのでしょうか。私たちは、朝鮮を正しく理解するために、日本のマスメディアの「朝鮮報道」を、どうとらえるべきかについて、立命館大学コリア研究センターの森類臣さんに、ご講演をお願いしました。多くの皆様のご参加をお願いします。

主催 朝鮮人道支援ネットワーク・ジャパン (略称:ハンクネット)

連絡先 090-8860-9961 (竹本 昇) ホームページ: <http://www.hanknet-japan.org/>